



平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 大
 コード番号 3758 URL <http://www.aeria.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 祐介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 清水 明 (TEL) 03-3587-9574
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	5,715	22.9	120	344.8	18	—	△302	—
22年12月期第3四半期	4,648	—	27	—	△10	—	△432	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	△5,304 59	— —
22年12月期第3四半期	△7,418 45	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	7,574	5,903	73.9	98,033 09
22年12月期	7,848	6,297	77.0	105,821 68

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 5,598百万円 22年12月期 6,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	—	—	2,200 00	2,200 00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	17.9	560	747.1	620	—	260	—	4,552 93

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 ― 社 ()、除外 ― 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 3 Q	67,902株	22年12月期	67,902株
23年12月期 3 Q	10,796株	22年12月期	10,796株
23年12月期 3 Q	57,106株	22年12月期 3 Q	58,347株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 重要な後発事象に関する注記	14

※ 当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響後、サプライチェーンの立て直しや個人消費の回復など、緩やかながらも持ち直しの動きを見せ、一日も早い復興、景気の回復が期待されますが、欧州金融危機への懸念や米国の国債格下げなどの影響もあり、未だ世界的に不安定で先行きの見えない景気減速ムードのなか推移しております。

当社グループが事業を展開している市場環境におきましては、インターネット環境と利用端末の普及向上により、引き続き今後も拡大が見込まれるものと思われまます。

このような環境のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高5,715,886千円（前年同期比22.9%増）、営業利益120,191千円（前年同期比344.8%増）、経常利益18,108千円（前年同期は経常損失10,778千円）、四半期純損失に関しましては、302,923千円（前年同期は四半期純損失432,844千円）となりました。

売上高につきましては、当社及びAeria Games & Entertainment, Inc.においてオンラインゲームの配信事業が順調に拡大を続けていることから、前年同期に比べ1,067,126千円増加し、5,715,886千円となりました。

四半期純損失につきましては、当第3四半期連結累計期間における円高の進行や持分法による投資損失の計上に加え、当初予定していた収益を見込めなくなった一部タイトルの減損損失223,326千円を計上したことによるものであります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（オンラインゲーム事業）

オンラインゲーム事業につきましては、当社及び連結子会社でありますAeria Games & Entertainment, Inc.を中心に国内・海外でオンラインゲームの配信を行っており、平成23年9月には累計登録会員数が2,400万人を突破するなど、順調な成長を続けております。しかしながら、売上高も増加していますが、円高の進行やコスト削減効果の発現が遅れ、利益率の低下に繋がっております。

以上の結果、売上高は3,736,115千円、営業損失は40,351千円となりました。

（ゲーム開発事業）

ゲーム開発事業につきましては、株式会社アクワイアが発売したPSP用ソフト『AKIBA'S TRIP』『剣と魔法と学園モノ。Final』の販売が好調に推移し売上高を拡大しております。

その他の子会社については特筆すべき事項はございません。

以上の結果、売上高は1,115,391千円、営業利益は117,642千円となりました。

（ITサービス事業）

ITサービス事業につきましては、インターネットの普及に伴いデータサービス事業を行う株式会社エネット並びにネットワークエンジニアの派遣を行う株式会社スリーエスが共に安定した収益を獲得しております。

以上の結果、売上高は914,678千円、営業利益は54,576千円となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業につきましては、株式会社アエリアエステートにおいて、安定した売上・営業利益を計上しております。

その他の子会社については特筆すべき事項はございません。

以上の結果、売上高は44,046千円、営業利益は18,231千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、7,574,957千円で、前連結会計年度末に比べ273,265千円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ685,829千円減少し、3,133,490千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ412,564千円増加し、4,441,466千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ190,095千円増加し、1,269,864千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ69,531千円減少し、401,335千円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失の計上及び配当に伴う資本剰余金の減少等に伴い、393,829千円減少し、5,903,757千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ662,590千円減少し、1,838,706千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は170,717千円(前年同期は383,439千円の増加)となりました。これは主に減損損失、減価償却費及び持分法による投資損失の計上や仕入債務の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は678,758千円(前年同期は1,183,482千円の減少)となりました。これは主に、ソフトウェアの取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は148,655千円(前年同期は720,620千円の減少)となりました。これは主に配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境は、インフラやウェブサービス面の充実により、インターネット利用者が更に増加していくことなどを背景に、今後も引き続き拡大傾向が続くものと予想されます。

オンラインゲーム事業におきましては、当社において日本国内でのオンラインゲームの配信を行っており、順調に登録会員数が増加しております。今後についても、複数のオンラインゲームタイトルの投入を予定しております。また、海外子会社でありますAeria Games & Entertainment, Inc. 及びAeria Games Europe GmbHを通じ、北米・欧州、更には南米をはじめとするオンラインビジネスが成長豊かな国々において、オンラインゲームを中心とするエンターテインメントビジネスの展開を強化してまいります。

当社グループではオンラインゲーム事業をコア事業と位置づけ、様々なエンターテインメントコンテンツの提供を積極的に展開してまいります。

現状では、平成23年2月14日に公表した当期の連結業績予想についての修正は予定しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

なお、当社の子会社である株式会社アクワイアは、平成23年10月19日にガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社に当社保有の全株式を売却したため、第4四半期連結会計期間より連結の範囲から除外されます。

詳細につきましては、「3 四半期連結財務諸表（7）重要な後発事象に関する注記」をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（簡便な会計処理）

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費の算定方法については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益がそれぞれ4,405千円減少し、税金等調整前四半期純損失が10,613千円増加しております。

②「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

③ 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,879,665	2,544,556
受取手形及び売掛金	613,591	510,330
商品	1,610	1,422
仕掛品	16,408	42,687
1年内回収予定の長期貸付金	2,505	2,080
繰延税金資産	4,094	875
その他	621,651	722,319
貸倒引当金	△6,036	△4,950
流動資産合計	3,133,490	3,819,320
固定資産		
有形固定資産	1,032,369	1,046,284
無形固定資産	808,078	738,976
投資その他の資産		
投資有価証券	692,249	203,525
関係会社株式	511,908	609,921
長期貸付金	1,392,165	1,415,099
繰延税金資産	5,514	4,661
その他	205,994	218,089
貸倒引当金	△206,813	△207,655
投資その他の資産合計	2,601,019	2,243,641
固定資産合計	4,441,466	4,028,902
資産合計	7,574,957	7,848,223
負債の部		
流動負債		
買掛金	246,410	129,204
1年内返済予定の長期借入金	125,342	111,628
1年内償還予定の社債	14,300	14,300
未払費用	291,976	231,153
未払法人税等	21,774	17,725
賞与引当金	5,488	6,653
その他	564,571	569,102
流動負債合計	1,269,864	1,079,768
固定負債		
社債	14,250	28,550
長期借入金	225,371	251,985
繰延税金負債	34,445	42,173
退職給付引当金	11,647	9,189
負ののれん	61,000	88,060
その他	54,621	50,908
固定負債合計	401,335	470,866
負債合計	1,671,199	1,550,635

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	236,457	236,457
資本剰余金	6,598,021	6,723,654
利益剰余金	△186,478	116,445
自己株式	△1,035,442	△1,035,442
株主資本合計	5,612,557	6,041,114
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,058	68,403
為替換算調整勘定	△63,338	△66,465
評価・換算差額等合計	△14,279	1,938
新株予約権	75,100	75,100
少数株主持分	230,379	179,434
純資産合計	5,903,757	6,297,587
負債純資産合計	7,574,957	7,848,223

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	4,648,759	5,715,886
売上原価	2,767,326	3,481,464
売上総利益	1,881,433	2,234,421
販売費及び一般管理費	1,854,413	2,114,230
営業利益	27,019	120,191
営業外収益		
受取利息	37,079	15,834
受取配当金	1,473	1,439
持分法による投資利益	36,057	—
負ののれん償却額	27,060	27,060
その他	46,987	38,291
営業外収益合計	148,658	82,625
営業外費用		
支払利息	21,911	6,409
持分法による投資損失	—	93,997
為替差損	152,246	81,679
その他	12,298	2,623
営業外費用合計	186,456	184,708
経常利益又は経常損失(△)	△10,778	18,108
特別利益		
固定資産売却益	121	—
投資有価証券売却益	9,317	—
関係会社株式売却益	2,214	—
貸倒引当金戻入額	941	—
賞与引当金戻入額	1,699	—
持分変動利益	—	5,226
関係会社清算益	23,120	—
その他	19	—
特別利益合計	37,436	5,226
特別損失		
固定資産除却損	52,523	12,882
投資有価証券評価損	25,370	744
減損損失	176,201	223,326
貸倒引当金繰入額	193,804	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,207
特別損失合計	447,900	243,162
税金等調整前四半期純損失(△)	△421,242	△219,827
法人税、住民税及び事業税	10,945	34,615
法人税等調整額	9,179	△3,838
法人税等合計	20,125	30,777
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△250,604
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8,523	52,319
四半期純損失(△)	△432,844	△302,923

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,694,925	1,853,408
売上原価	1,012,353	1,125,576
売上総利益	682,572	727,832
販売費及び一般管理費	565,940	812,580
営業利益又は営業損失(△)	116,631	△84,747
営業外収益		
受取利息	1,864	5,482
受取配当金	673	640
負ののれん償却額	9,020	9,020
持分法による投資利益	7,870	—
その他	19,537	2,948
営業外収益合計	38,966	18,091
営業外費用		
支払利息	3,119	1,880
為替差損	73,865	85,176
持分法による投資損失	—	10,652
その他	4,905	909
営業外費用合計	81,890	98,620
経常利益又は経常損失(△)	73,707	△165,276
特別利益		
貸倒引当金戻入額	521	—
賞与引当金戻入額	829	—
持分変動利益	—	3,037
関係会社清算益	23,120	—
特別利益合計	24,470	3,037
特別損失		
固定資産除却損	3,852	11,753
減損損失	124,221	84,174
貸倒引当金繰入額	193,804	—
特別損失合計	321,878	95,927
税金等調整前四半期純損失(△)	△223,699	△258,167
法人税、住民税及び事業税	4,283	△35,601
法人税等調整額	8,246	△1,641
法人税等合計	12,530	△37,243
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△220,923
少数株主利益	44,467	2,058
四半期純損失(△)	△280,697	△222,981

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△421,242	△219,827
減価償却費	253,652	272,250
減損損失	176,201	223,326
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,207
長期前払費用償却額	25,254	31,373
のれん償却額	△786	△25,112
持分法による投資損益(△は益)	△36,057	93,997
貸倒引当金の増減額(△は減少)	168,425	243
受取利息及び受取配当金	△38,553	△17,273
支払利息	21,911	6,409
持分変動損益(△は益)	—	△5,226
為替差損益(△は益)	74,991	28,258
固定資産売却損益(△は益)	△121	—
固定資産除却損	52,523	12,882
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,317	—
投資有価証券評価損益(△は益)	25,370	744
関係会社株式売却損益(△は益)	△2,214	—
関係会社清算損益(△は益)	△23,120	—
売上債権の増減額(△は増加)	△162,016	△103,261
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,389	25,832
仕入債務の増減額(△は減少)	83,203	117,205
その他	237,559	105,378
小計	389,272	553,410
利息及び配当金の受取額	22,314	9,526
利息の支払額	△21,987	△6,409
法人税等の還付額	37,824	15,412
法人税等の支払額	△43,985	△401,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	383,439	170,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14,300	△27,900
定期預金の払戻による収入	16,100	25,200
有形固定資産の取得による支出	△87,360	△80,456
有形固定資産の売却による収入	222	—
無形固定資産の取得による支出	△628,614	△517,321
投資有価証券の取得による支出	—	△500,000
投資有価証券の売却による収入	9,999	—
関係会社株式の取得による支出	△27,181	△8,043
関係会社株式の売却による収入	6,000	—
長期前払費用の取得による支出	△39,939	△64,487
貸付けによる支出	△674,000	△9,000
貸付金の回収による収入	255,590	503,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,183,482	△678,758

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△403,753	△162,900
社債償還による支出	△116,150	△14,300
自己株式の取得による支出	△120,756	—
配当金の支払額	△129,960	△125,633
少数株主からの払込みによる収入	—	4,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△720,620	△148,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,385	△5,893
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,537,048	△662,590
現金及び現金同等物の期首残高	7,196,614	2,501,297
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4,072,101	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,587,464	1,838,706

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	エンター テイメント事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,254,587	394,172	4,648,759	—	4,648,759
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,700	13,192	15,892	(15,892)	—
計	4,257,287	407,364	4,664,652	(15,892)	4,648,759
営業利益	162,190	47,898	210,088	(183,069)	27,019

- (注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
 2 事業区分の各区分に属する主要なサービスの名称
 エンターテイメント事業・・・オンラインゲームを中心とするコンテンツ配信事業、ゲームソフト開発
 事業、システム開発事業、データセンター事業
 その他事業・・・人材派遣事業、不動産投資・賃貸事業
 3 事業区分の名称については、「エンターテイメント／ソリューション事業」は「エンターテイメント事
 業」に、「ファイナンス事業」は「その他事業」に、それぞれ変更しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,598,936	1,643,695	406,128	4,648,759	—	4,648,759
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	412,984	—	412,984	(412,984)	—
計	2,598,936	2,056,679	406,128	5,061,744	(412,984)	4,648,759
営業利益又は営業損失(△)	21,376	372,729	△367,085	27,019	—	27,019

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 北米・・・アメリカ合衆国、カナダ
 欧州・・・ドイツ、その他
 3 欧州については、金額的重要性が増したため、区別して記載しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	北米	欧州	計
I 海外売上高(千円)	1,643,695	406,128	2,049,823
II 連結売上高(千円)	—	—	4,648,759
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	35.4	8.7	44.1

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
北米・・・アメリカ合衆国、カナダ
欧州・・・ドイツ、その他
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
- 4 欧州については、金額的重要性が増したため、区別して記載しております。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別に子会社があり、当社及び各子会社は、サービスの向上と売上及び利益の拡大を目指し、国内外で事業活動を展開しております。

したがって当社は、当社及び各子会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「オンラインゲーム事業」「ゲーム開発事業」「ITサービス事業」「不動産賃貸事業」の4つを報告セグメントとしております。

なお、各セグメントに属する商品及びサービスの内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	属する商品及びサービスの内容
オンラインゲーム事業	オンラインゲームの配信・運営等
ゲーム開発事業	コンシューマゲームの企画・開発・販売等 CGの制作等
ITサービス事業	データサービス事業、SIサービス等 ネットワークエンジニアの派遣等
不動産賃貸事業	不動産の賃貸等

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

	報告セグメント				合計 (千円)	調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	オンライン ゲーム (千円)	ゲーム開発 (千円)	ITサービス (千円)	不動産賃貸 (千円)			
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,719,631	1,115,359	836,848	44,046	5,715,886	—	5,715,886
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,483	31	77,829	—	94,344	△94,344	—
計	3,736,115	1,115,391	914,678	44,046	5,810,230	△94,344	5,715,886
セグメント利益又は損失 (△)	△40,351	117,642	54,576	18,231	150,099	△29,907	120,191

- (注) 1 セグメント利益の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、主としてソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第3四半期連結会計期間における当該減損損失の計上額は、84,174千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象に関する注記

(重要な後発事象)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	
重要な子会社の譲渡	
当社は、平成23年10月19日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社アクワイアの保有株式の全てを譲渡することを決議し、平成23年10月19日に株式譲渡契約を締結いたしました。 (1) 売却の理由 当社は、今後の経営戦略の一環として、重点事業分野であるオンラインゲーム事業を中心としたエンターテインメント事業の拡大を目指し、事業の選択と集中を進めております。 アクワイアは創業以来、主にゲームソフトの企画・制作及び販売、オリジナルコンテンツの企画開発等を手がけておりますが、近年、当社が属するオンラインゲーム市場においては、スマートフォンの普及等によるゲームユーザー数の増加を背景に、更なる市場規模の拡大が見込まれており、企業間の競争も激化することが予想されます。 このような環境のもと、今後、当社が効率的に事業規模の拡大を進めていくためにも、主軸事業であるオンラインゲーム事業に経営資源を集約させる必要があると判断したことから、当社が保有するアクワイアの株式を譲渡することを決議いたしました。 (2) 売却する相手会社の名称 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 (3) 売却の時期 平成23年10月19日 (4) 当該子会社等の名称、事業内容 ① 名称 株式会社アクワイア ② 事業内容 ゲームソフトウェアの企画・制作及び販売 (5) 売却する株式の数、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率 ① 売却する株式の数 666株 ② 売却価額 250,000千円 ③ 売却益 当第3四半期連結会計期間末の連結上の簿価を基礎として算定した場合、関係会社株式売却益が120,018千円計上される見込みです。 ④ 売却後の持分比率 ー%	